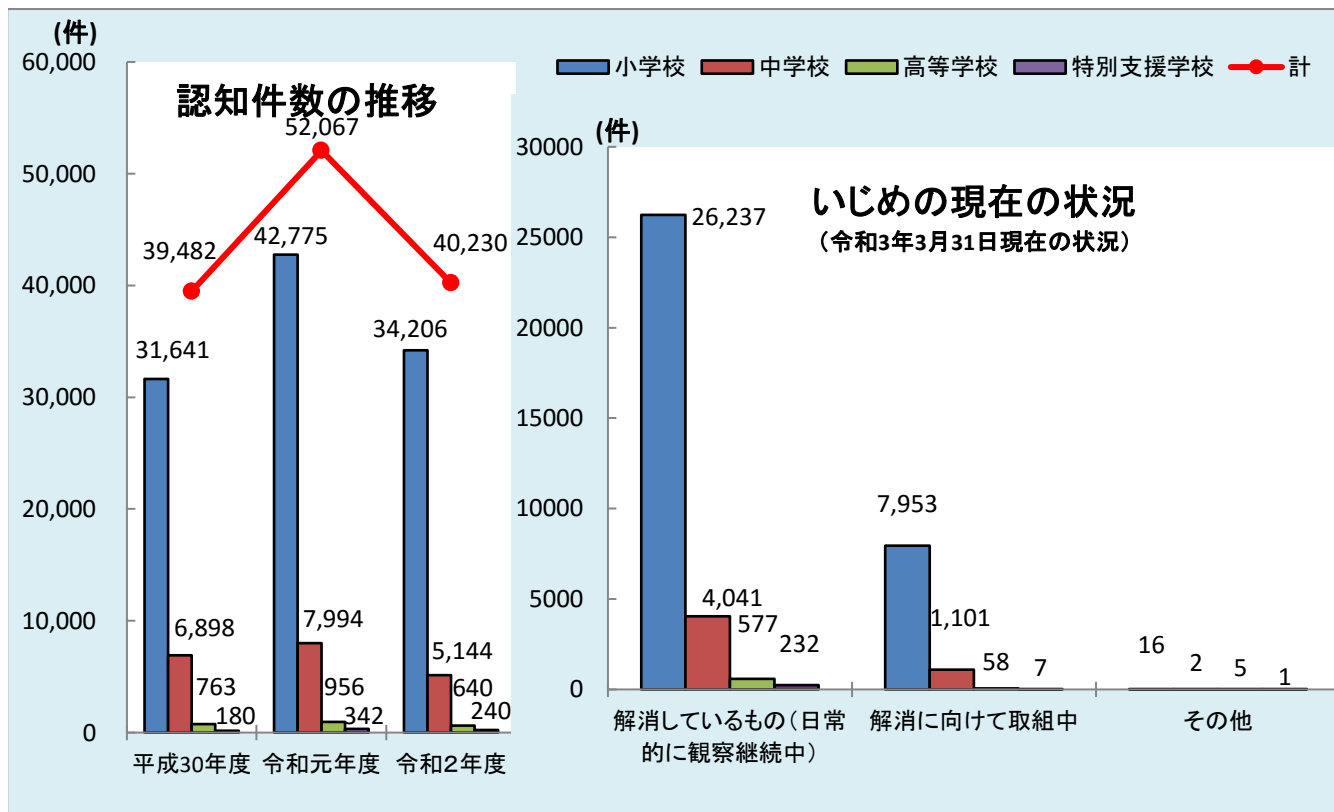


## 令和2年度 公立小・中・高・特支のいじめの状況等(千葉県)

## 1 いじめの認知状況等

	区 分	公立学校 総数	うち認知校数及び 割合(%)		認知件数	増減【%】	一校平均 件数
			校数	割合(%)			
小学校	平成30年度	794	745	93.8%	31,641	2,690【9.3%】	39.9
	令和元年度	781	758	97.1%	42,775	11,134【35.2%】	54.8
	令和2年度	767	735	95.8%	34,206	△8,569【△20.0%】	44.6
中学校	平成30年度	379	362	95.5%	6,898	631【10.1%】	18.2
	令和元年度	377	368	97.6%	7,994	1,096【15.9%】	21.2
	令和2年度	371	351	94.6%	5,144	△2,850【△35.7%】	13.9
高等学校	平成30年度	146	129	88.4%	763	315【70.3%】	5.2
	令和元年度	145	131	90.3%	956	193【25.3%】	6.6
	令和2年度	145	123	84.8%	640	△316【△33.1%】	4.4
特別 学校 支援	平成30年度	43	22	51.2%	180	13【7.8%】	4.2
	令和元年度	43	29	67.4%	342	162【90%】	8.0
	令和2年度	43	28	65.1%	240	△102【△29.8%】	5.6
計	平成30年度	1,362	1,258	92.4%	39,482	3,649【10.2%】	29.0
	令和元年度	1,346	1,286	95.5%	52,067	12,585【31.9%】	38.7
	令和2年度	1,326	1,237	93.3%	40,230	△11,837【△22.7%】	30.3

※高等学校の「公立学校総数」は、県立、市立の全日制127校、定時制17校、通信制1校の合計である。



※いじめの定義(平成25年度一部改訂)

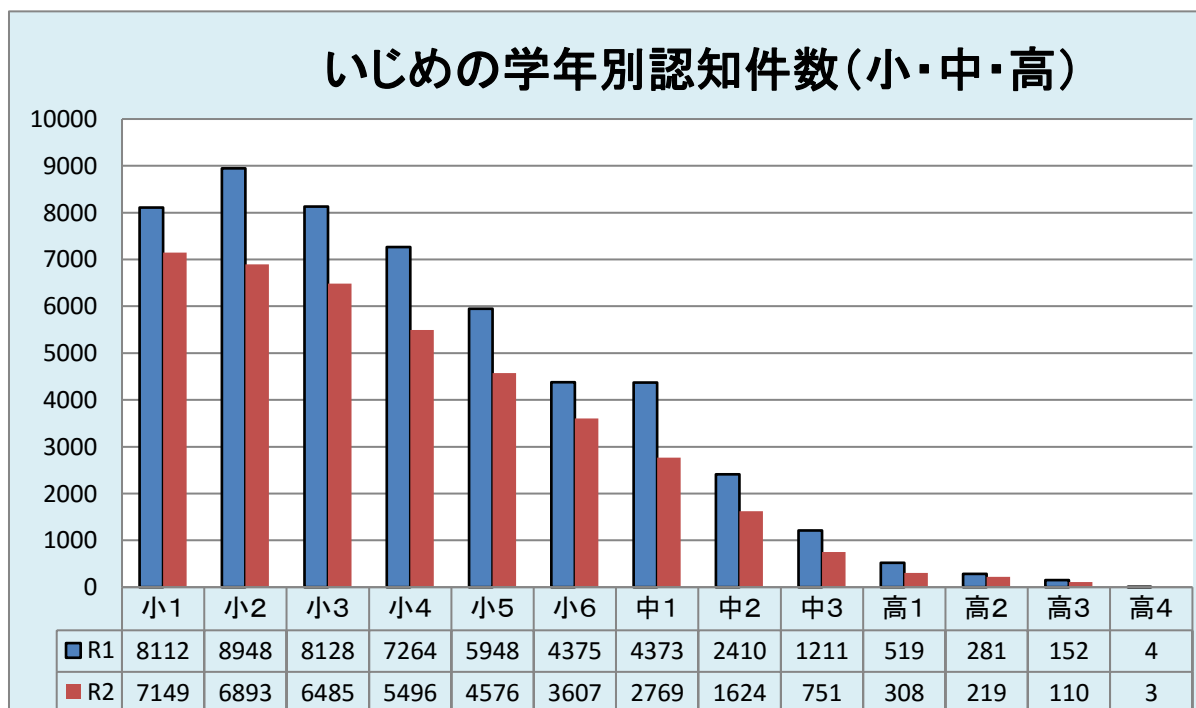
本調査において、個々の行為が「いじめ」に当たるか否かの判断は、表面的・形式的に行うことなく、いじめられた児童生徒の立場に立つて行うものとする。

「いじめ」とは、「児童生徒に対して、当該児童生徒が在籍する学校に在籍している等当該児童生徒と一定の人的関係のある他の児童生徒が行う心理的又は物理的な影響を与える行為(インターネットを通じて行われるものを含む。)であって、当該行為の対象となった児童生徒が心身の苦痛を感じているもの。」とする。なお、起こった場所は学校の内外を問わない。

## 2 いじめの認知件数の学年別、男女別内訳

(単位:件)

区分		1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	計	
小学校	男子	4,096	3,962	3,726	3,097	2,704	2,147	19,732	
	女子	3,053	2,931	2,759	2,399	1,872	1,460	14,474	
	小計	7,149	6,893	6,485	5,496	4,576	3,607	34,206	
中学校	男子	1,728	986	422	—	—	—	3,136	
	女子	1,041	638	329	—	—	—	2,008	
	小計	2,769	1,624	751	—	—	—	5,144	
高等学校	男子	150	94	56	1	—	—	301	
	女子	158	125	54	2	—	—	339	
	小計	308	219	110	3	—	—	640	
特別支援学校	小学部	男子	11	4	3	2	7	11	38
		女子	2	3	1	3	4	4	17
		小計	13	7	4	5	11	15	55
	中学部	男子	14	7	16	—	—	—	37
		女子	9	10	7	—	—	—	26
		小計	23	17	23	—	—	—	63
	高等部	男子	22	33	28	—	—	—	83
		女子	9	14	16	—	—	—	39
		小計	31	47	44	—	—	—	122
特別支援学校計		67	71	71	5	11	15	240	
合計		10,293	8,807	7,417	5,504	4,587	3,622	40,230	

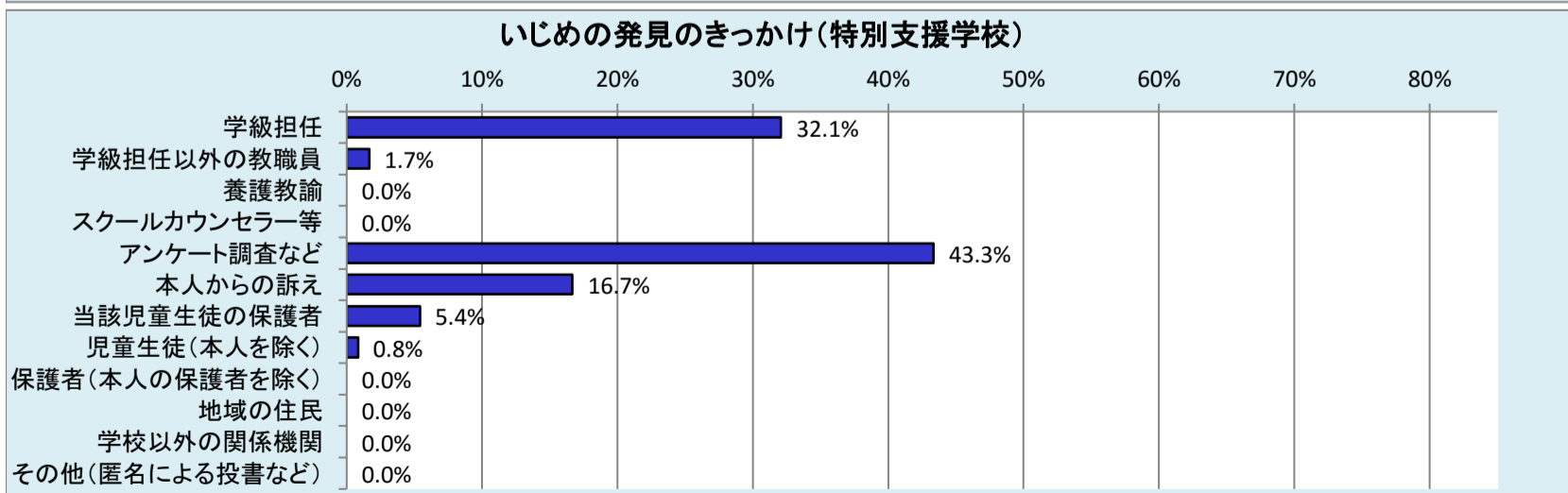
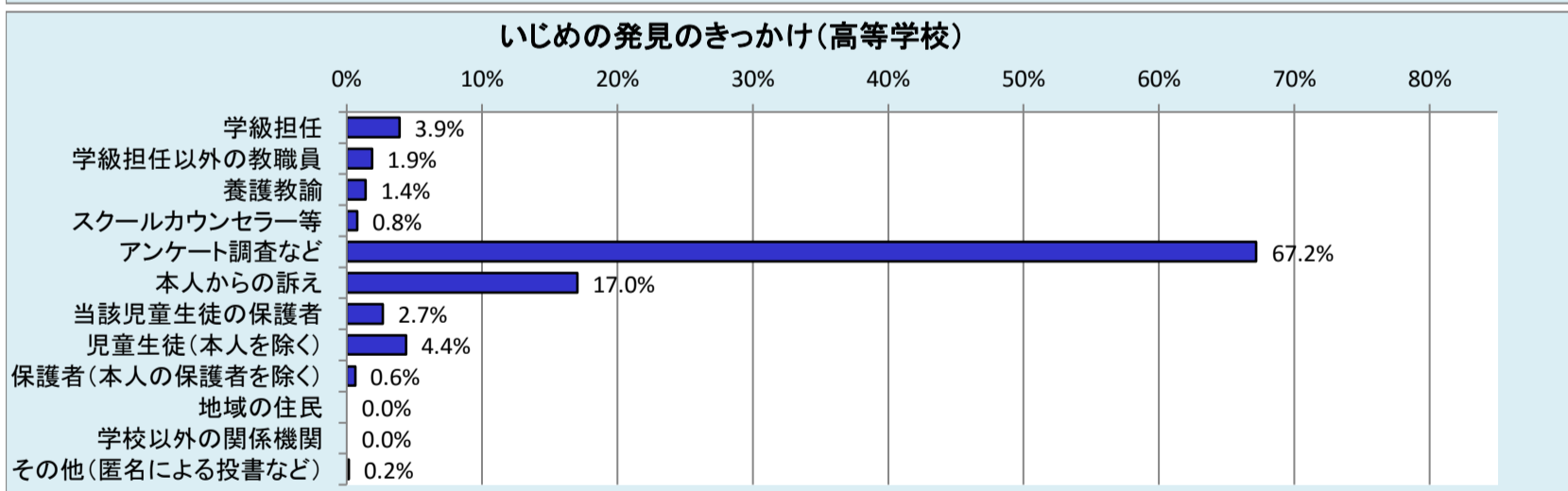
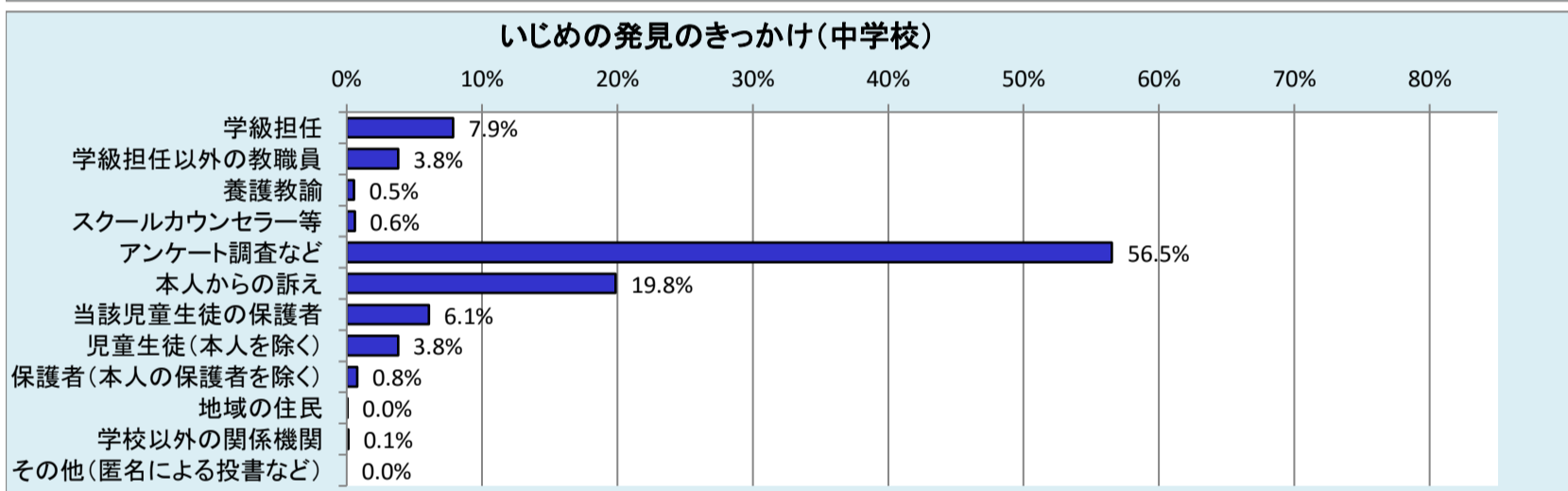
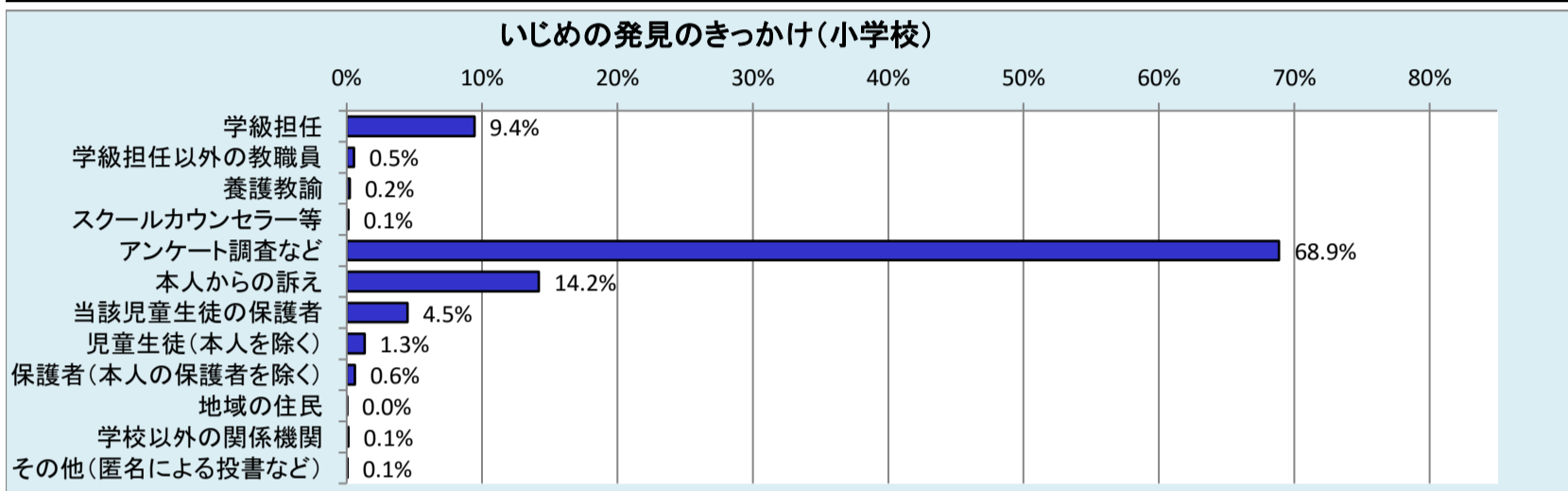


(注)調査では、単位制の高等学校の1年次生は「高1」、2年次生は「高2」、3年次生は「高3」、4年次生以上は「高4」としてそれぞれ計上している。

### 3 いじめの発見のきっかけ

(単位:件)

区 分		小 学 校	中 学 校	高 等 学 校	特 別 支 援 学 校	計
学校の教職員等が発見		27,083	3,568	481	185	31,317
内 訳	学級担任	3,230	405	25	77	3,737
	学級担任以外の教職員	186	196	12	4	398
	養護教諭	73	28	9	0	110
	スクールカウンセラー等	43	31	5	0	79
	アンケート調査など	23,551	2,908	430	104	26,993
学校の教職員以外からの情報により発見		7,123	1,576	159	55	8,913
内 訳	本人からの訴え	4,855	1,021	109	40	6,025
	当該児童生徒の保護者	1,537	312	17	13	1,879
	児童生徒(本人を除く)	454	195	28	2	679
	保護者(本人の保護者を除く)	208	40	4	0	252
	地域の住民	3	2	0	0	5
	学校以外の関係機関	46	6	0	0	52
	その他(匿名による投書など)	20	0	1	0	21
計		34,206	5,144	640	240	40,230



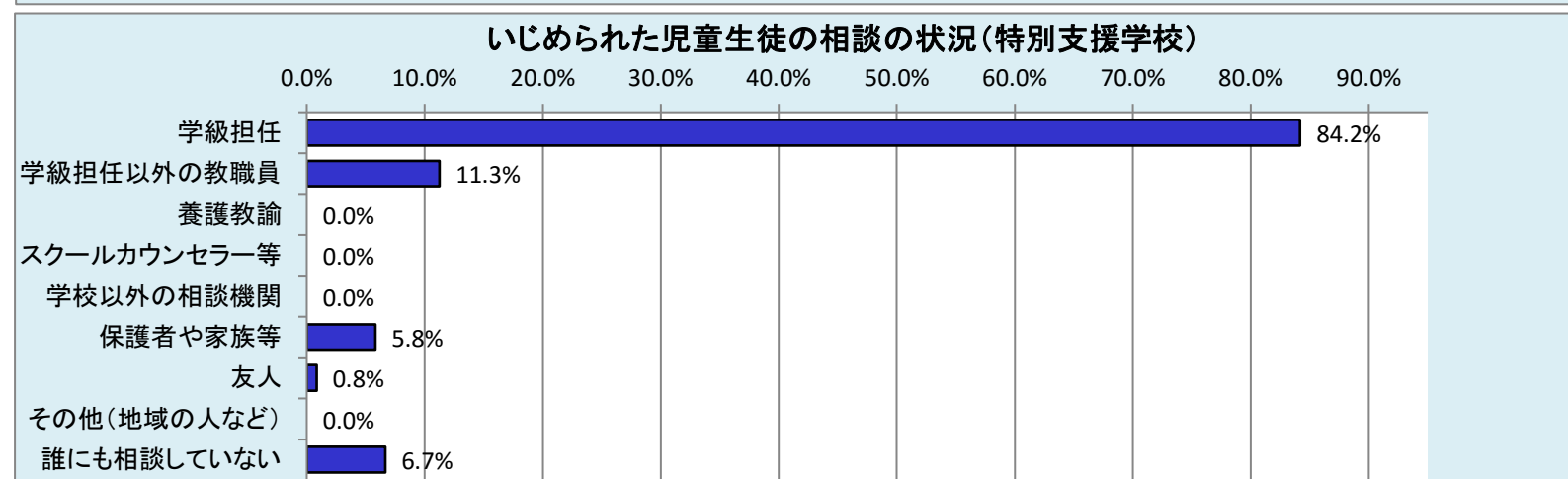
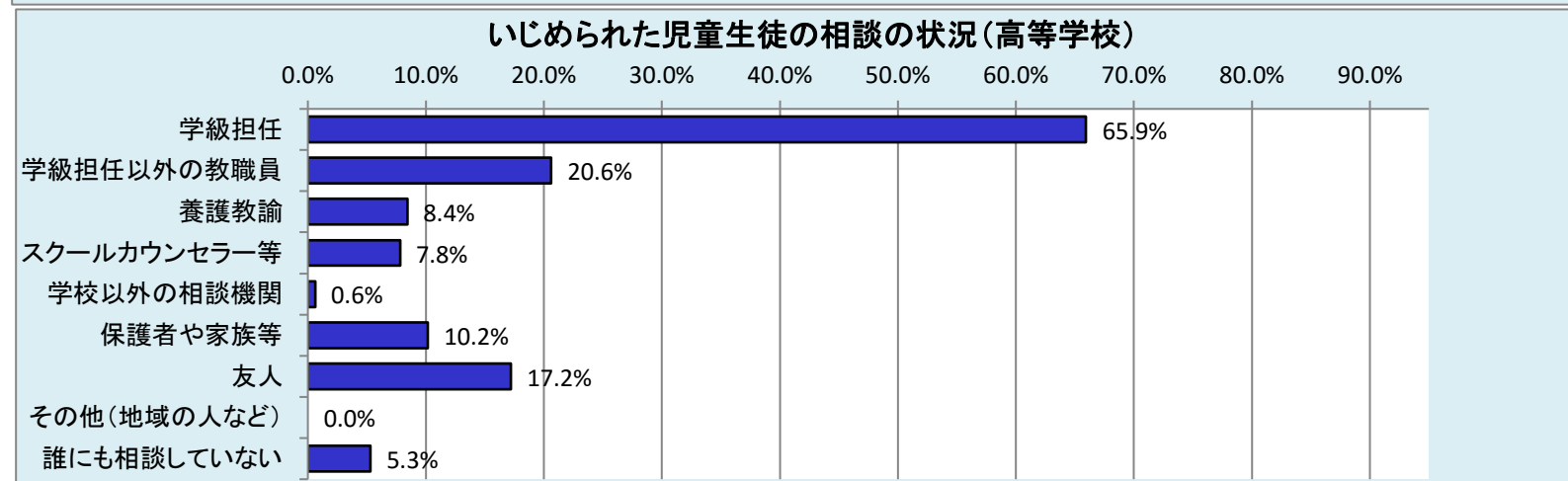
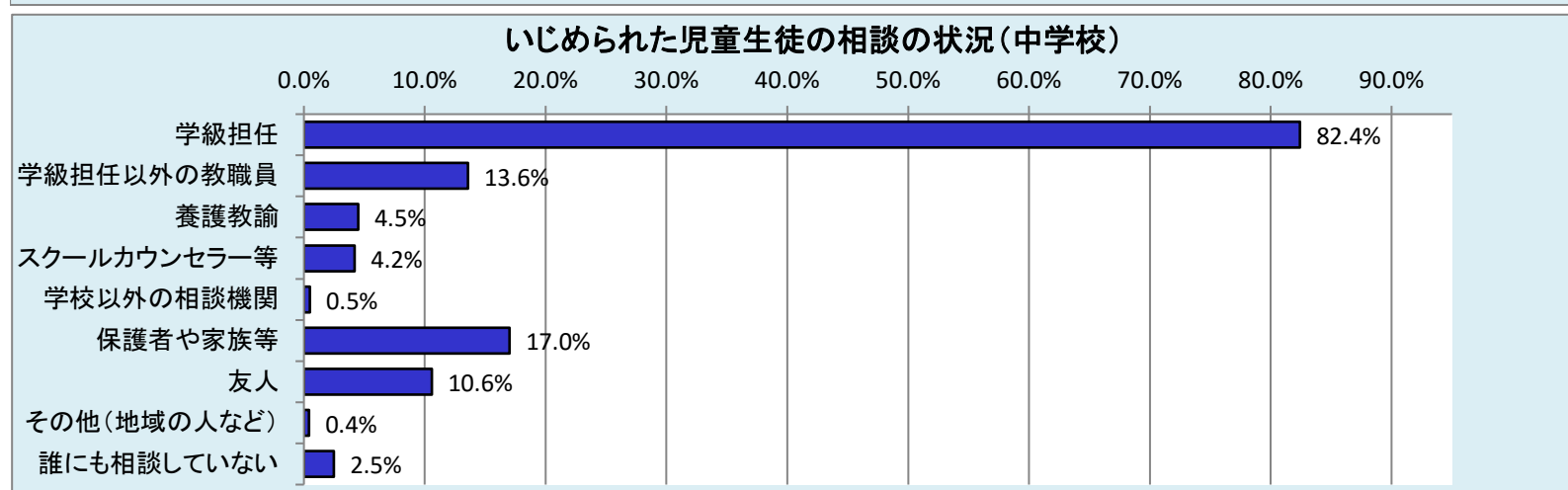
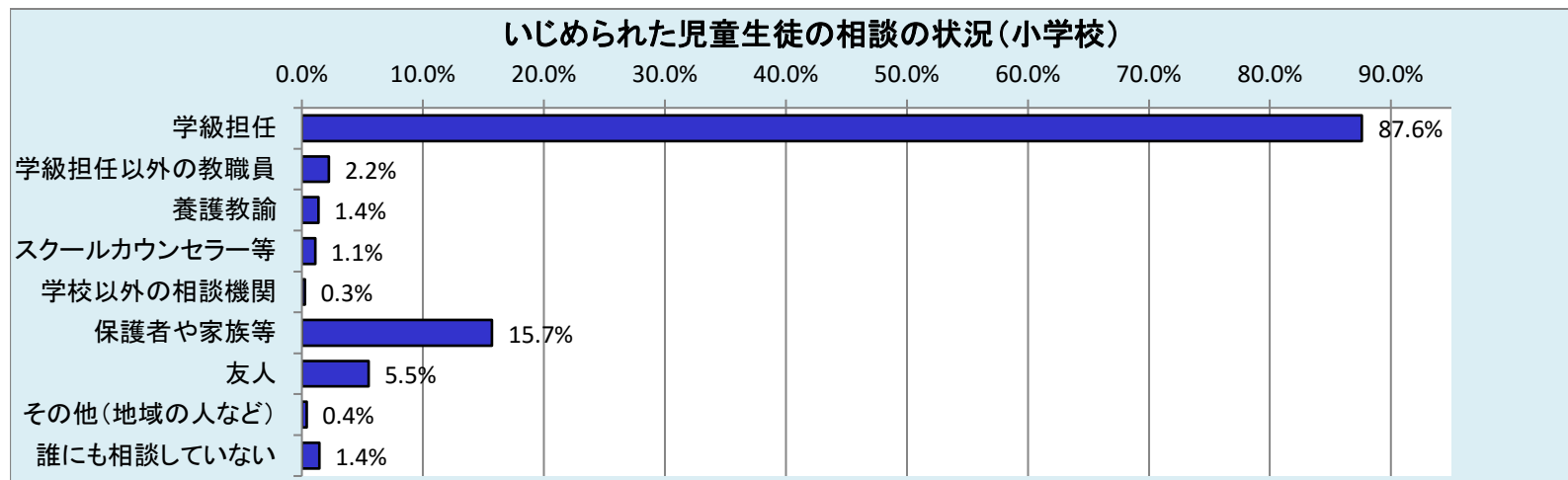
※上記の割合(%)は各学校種ごとのいじめの認知件数に対する割合を示している。  
(認知件数: 小学校34, 206件、中学校5, 144件、高等学校640件、特別支援学校240件)

## 4 いじめられた児童生徒の相談の状況

(単位:件)

区分	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	計
学級担任	29,958	4,240	422	202	34,822
学級担任以外の教職員	759	699	132	27	1,617
養護教諭	469	231	54	0	754
スクールカウンセラー等	376	216	50	0	642
学校以外の相談機関	88	26	4	0	118
保護者や家族等	5,373	876	65	14	6,328
友人	1,886	544	110	2	2,542
その他(地域の人など)	132	22	0	0	154
誰にも相談していない	492	128	34	16	670
計	39,533	6,982	871	261	47,647

(注)複数選択を可としている。



※上記の割合(%)は各学校種ごとのいじめの認知件数に対する割合を示している。

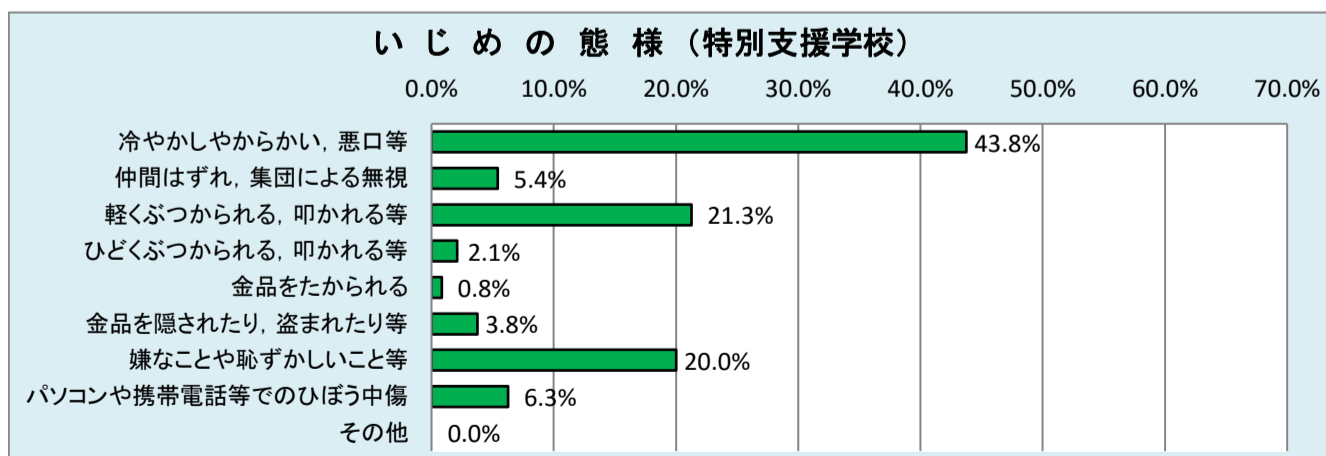
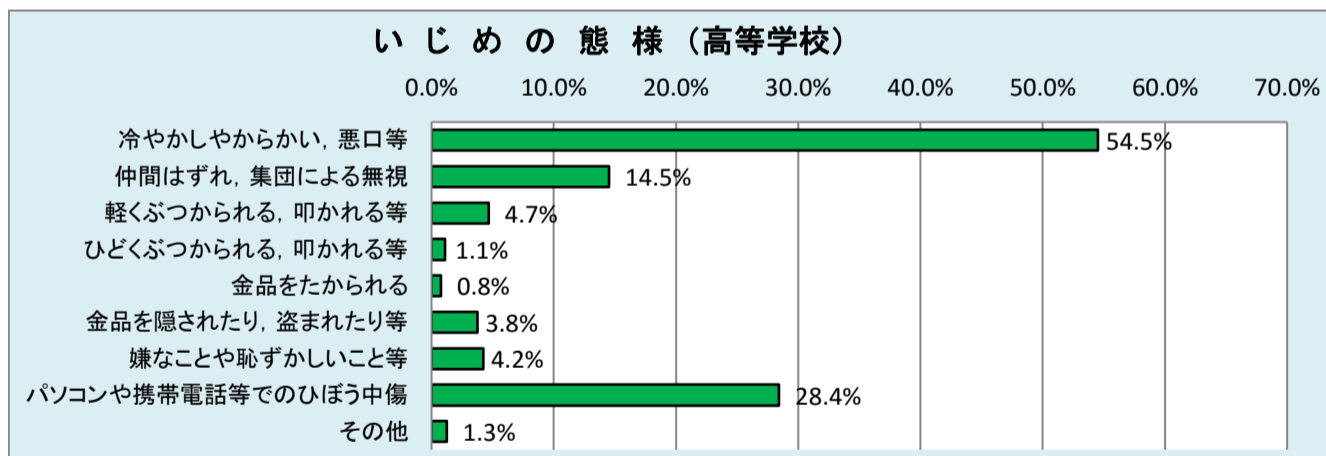
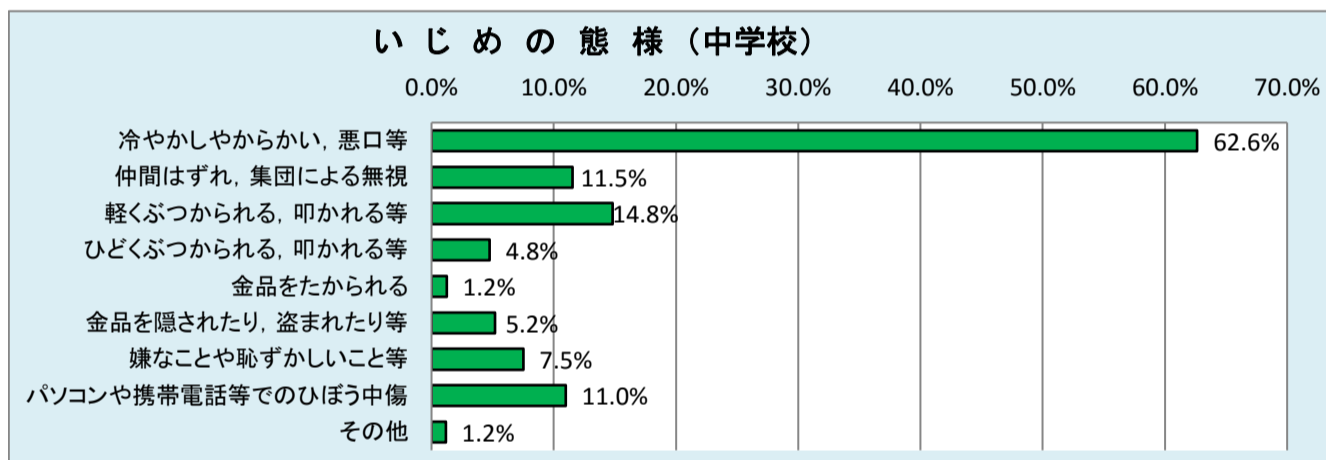
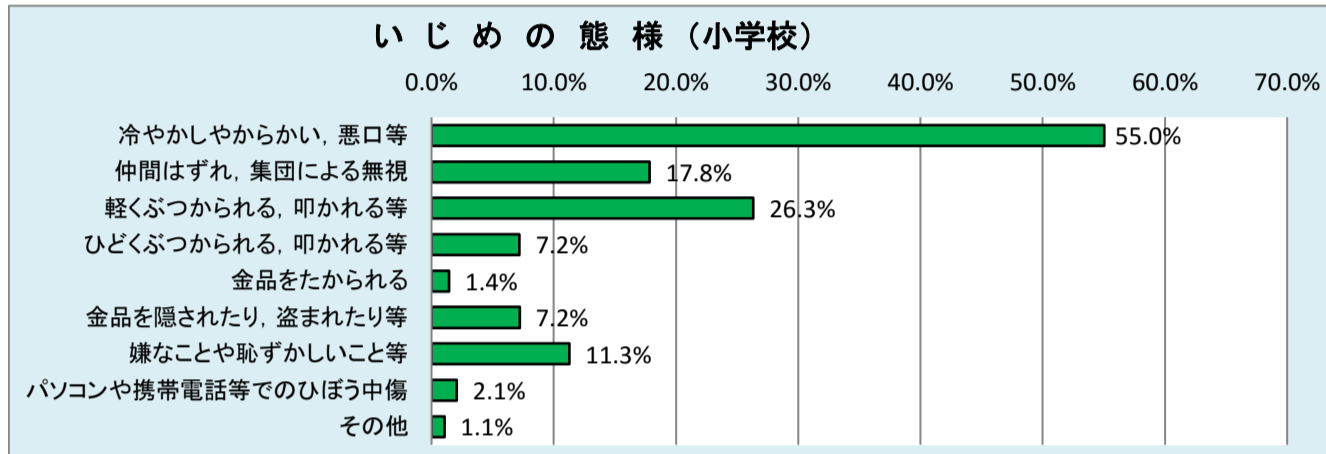
(認知件数:小学校34,206件、中学校5,144件、高等学校640件、特別支援学校240件)

## 5 いじめの態様

(単位:件)

区 分	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	計
冷やかしやからかい, 悪口等	18,828	3,222	349	105	22,504
仲間はずれ, 集団による無視	6,105	594	93	13	6,805
軽くぶつかられる, 叩かれる等	9,002	762	30	51	9,845
ひどくぶつかられる, 叩かれる等	2,464	245	7	5	2,721
金品をたかられる	491	64	5	2	562
金品を隠されたり, 盗まれたりする等	2,465	267	24	9	2,765
嫌なことや恥ずかしいことをされる等	3,858	387	27	48	4,320
パソコンや携帯電話等でのひぼう中傷	709	565	182	15	1,471
その他	362	60	8	0	430
計	44,284	6,166	725	248	51,423

(注)複数選択を可としている。



※上記の割合(%)は各学校種ごとのいじめの認知件数に対する割合を示している。

(認知件数: 小学校34, 206件、中学校5, 144件、高等学校640件、特別支援学校240件)